

2016年度事業計画

基本方針

Concentration 2016

組織に新たな価値観を見出すことが大切であるとの想いで取り組んでいる日技新発展『7』プランも、今年度は工程の前半最後の年度となる。基本戦略と具体的施策の進捗状況を検証し、達成に向けて「集中」をキーワードに臨む。特に、「総合政策審議会」の答申は、会内議論を経て、具現化に向けた対応を始める。

また、これらの情報が会員に確実に伝わり、一体感のある会務運営が重要であることから、地域組織と連携して情報伝達に力を注ぎ、組織活動の理解を深め、事業の活性化を図る。

1. “日技新発展『7』プラン”の推進

- 目標達成をおおむね6年とする中長期総合計画の工程表に沿って進捗状況を検証し、実現に努める。
- 昨年発行した『7』プラン冊子等を活用し、啓発活動を積極的に行う。
- 『7』プランの実現に向けて、推進委員会と担当事業部門が連携して効率的に取り組む。
- 計画の変更が必要になった場合は、速やかにホームページ等で公開する。

2. 公益社団法人としての円滑な会務運営

- 公益目的事業の推進を図るために、各事業部門の活性化を図る。
- 歯科技工士のナショナルセンターとして、歯科技工士の存在を広く社会にアピールし、職業イメージの転換を目指す。
- 地域組織と情報を共有し、会員が組織活動に一体感を持てる会務運営に努める。
- 未法人地域組織の法人化を前例実績に倣いバックアップを続ける。

3. 歯科技工士の環境整備に向けた取組

- 「総合政策審議会」の答申を踏まえ、会内議論を経て、その活用と具現化に向けて積極的に取り組む。
- 歯科技工士教育の修業年限延長に向けて、「手段」と「戦略」の構築と実施に努める。
- 環境整備の原動力として不可欠な組織拡充について、成果が出ている地域組織の活動を検証し、担当事業部門の施策に活かす。

なお、『7』プランの基本戦略に沿って、各事業部門が具体的施策に取り組んでいるが、その目的と効果を正しく会員に伝えることが重要であり、引き続き、地域組織と連携して、会員が果実を得ることのできる会務執行に努める決意である。